

ミルクィーズ

監督／大久保真志

会長／堤繁子



「チームワーク抜群。みんなバレーが好きな人ばかり」

平成5年の冬、入原地区の若妻会会員で「何かスポーツでもしよう」と発足したバレーボールのサークル。現在は永井・入原・椋久保の地区の主婦14人が、毎週月曜日の夜、南小の体育館で練習しています。毎年、村のミセスバレーボール大会に参加。今年はAリーグで準優勝に輝きました。大久保監督は「経験者が少ない中、最近ではボールも拾えるようになり、攻撃面にもバリエーションが増えてきました。目標は村の大会の優勝です」。堤会長は「みんな明るく元気で、バレーの好きな人ばかり。チームワークは抜群なんですよ」とニコリ。

交流 ひろば

新婚さん、金婚を迎えたご夫妻の登場者を募集しています。自薦・他薦は問いません。皆さんどしどしご応募ください。【問い合わせ】役場企画課広報統計係 ☎24-5111 (内線32)

二人三脚で

50年

「昔は弁当と水を持つては、牛運送で毎日畑に通ったもの。当時は手作業で、コンニャクもよく掘ったものです」と2人。「入沢川と接しているので、水害にも3回遭いました。床下浸水もしたんですよ。昭和37年には火事にもあつて、災害には苦労しましたね」と振り返ります。

そんなご夫妻は現在、一昨年に新築した自宅で2人暮らし。しんさんは、毎年娘さんからプレゼントをもらっているそうで、「今年の母の日ももらったんですよ。本当にうれしいですね」とニコリ。ウドの生産を40年以上も行っているご夫妻。現在も現役で、今年も3月から出荷したそうですが、昌徳さんが体調を崩してダウン。しんさんが主力で頑張ったそうで、「私も倒れるくらい頑張ったんですよ」(笑)。夫婦円満については「お互い我慢せずに、言いたいことを言うことですよ」と2人。そんなご夫妻は、「これからも子どもたちに迷惑をかけないように、健康管理に注意して仲むつまじく暮らしていきたいですね」と満面の笑み。

「健康管理に注意して」



茂木昌徳さん(74歳)・入原上しんさん(73歳)
(昭和29年5月31日入籍)

さわやがカップル



「いしむに」「に」仲良し家族で



石井 秀樹さん (29歳)・南内出
(小野里)美佐さん (33歳)
(平成15年8月26日入籍)

出合いは2年前の8月。村企画の講演会を通じて知り合いました。交際は、美佐さんのパソコンに秀樹さんがメールを送ったことがきっかけでスタート。共通の趣味がスノーボードという2人は、大会などで岩手や山形、長野などへも出かけたそうです。思い出深いデートは昨年6月のデイズニーシー。美佐さんは「大好きなアリエルのショーは3回も見たんですよ」とニコニコ。

そんな2人は、昨年8月に挙式、今年の4月に披露宴。「友人たちが盛り上げてくれて、一生の宝物になりました」(笑)。現在、秀樹さんは両親とともにリンゴ栽培を中心とした農業経営に専念。「りんご博士」を目指して忙しい毎日を送っています。一方、前橋市出身の美佐さんは、ネイリストと主婦業を両立。主婦業では、秀樹さんのダイエット作戦に奮闘しているそうです。

子どもについては「男1人、女2人を」という秀樹さんに、「女の子1人を」と美佐さん。これからについては、「いつもニコニコ、仲良し家族。誕生日やクリスマスなどの記念日を大切に作る家族でいたいんです。それと、この先おじいちゃん、おばあちゃんになるまでにたくさん思い出を作りたいです」。

ちっちゃなこてん

保育園児の作品で～す

こいのぼり
「家にも大きなこいのぼりを上げたよ」。



のがみとしきくん
(子育保・6歳)



たのしい保育園
「毎日楽しい保育園で友達と遊んでいます」。



しまだ ひとみちゃん
(子育保・5歳)

結婚について

最近、よく親から「奥さんになってくれる人を探せ」と言われる。確かに今年で25になるのだから、結婚を考えていいのかもしれない。

しかし、実際結婚している友人や知人に話を聞くと、「まだ若いんだから遊んでおいたほうがいい」とか、「結婚すると自分の時間がなくなるから、独り身のお前のほうがうらやましい」と言われる。

独身側から言わせてもらうなら、奥さんや子どもというのは、その人にとってかなりの精神的支えになっていると思う。人って、支えてくれる人がいれば、どこまでも頑張れると思うので。

とまあ、こんな風に長々と実は結婚意欲があることを書いたけれど、とりあえず、まずは彼女になってくれる人を見つけないとお話にならないんですけどね(笑)。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇
次回の登場者は、林邦久さん(25歳・生越)です。



高瀬実さん(宮貝戸・25歳)

はっらっ
トーク